

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月06日

計画の名称	星ふるまち下松の水環境向上計画（重点計画）													
計画の期間	平成30年度 ～ 平成30年度（1年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	下松市													
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを創出して良好な水環境及び潤いのある都市環境を創造すると共に、下松市総合計画に掲げる将来像の実現を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		80	A	80	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初		H30末
1	下水道処理人口普及率を86%(H30)から87%に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	86%	%	87%
	下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	下松市	直接	下松市	管渠（ 污水）	新設	污水幹線整備事業（西部 2号幹線等）	污水幹線、L=1060m	下松市	■					80		—	
		①																		
												小計						80		
											合計						80			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

下松市下水道審議会にて、事後評価を実施

事後評価の実施時期

事業終了後（令和元年度）

公表の方法

下松市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

広石地区等での汚水幹線の整備により、下水道処理人口普及率が８６％（平成３０年度当初）から８７％（平成３０年度末）に上昇し、快適な生活環境や良好な水環境の創造につながった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

下水道を利用できる人口を増加させるため、引き続き計画的に汚水管の整備を実施し、効率的な下水道施設の維持管理により、快適な暮らしと良好な水環境の創造を目指す。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率		
	最 終 目標値	87%	計画的な事業執行に努め、目標を達成した。
	最 終 実績値	87%	